

函 教 文

令和4年(2022年)9月27日

報道機関各位

函館市教育委員会生涯学習部
文化財課長 長谷山 裕一
(公印省略)

JOMON WEEK in 2022 AUTUMN 「どぐうの日～Do good day!～」
の開催に係る報道について (依頼)

このことについて、下記のとおり実施しますので、取材・報道方よろしくお願
いいたします。

記

- 趣 旨：本市の史跡垣ノ島遺跡および史跡大船遺跡を含む「北海道・北
東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録決定から1周年を記念し
て、縄文文化をモチーフにしたグルメがテーマのステージイ
ベントや国宝土偶(レプリカ)に実際にふれてみる体験講座等
を開催し、市民に対して縄文文化の普及・啓発を図る。
- 開催日時：令和4年10月9日(日)10:00-14:45
- 会 場：縄文文化交流センター・史跡垣ノ島遺跡
- 参加料：無料
- 開催内容：ステージイベント「世界遺産を食べよう！」(別紙1)
(<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2022092000018/>)
体験講座「中空土偶とふれあってみよう！」(別紙2)
(<https://www.hjcc.jp/>)
ほか

(連絡先)

函館市教育委員会生涯学習部文化財課
埋蔵文化財・世界遺産担当：田中・大矢
(電話 0138-21-3472)

ステージイベント「世界遺産を食べよう！」実施要項

1 目 的

狩猟・漁労・採取により1万年も続いた縄文時代の食生活にスポットをあて、現代人が当時の食材や地域の食材などを用いたレシピの創作などにより、家庭の食卓において“縄文めし”を囲みながら、楽しく当時の食生活を想像し、縄文文化をはじめ史跡垣ノ島遺跡および史跡大船遺跡、さらには縄文人を身近に感じる一助とする。

また、縄文関連グルメ等の情報等を紹介し、商品の知名度向上と販売促進を図る。

2 日 時

令和4年10月9日（日）どぐうの日 11:00～14:00

3 場 所

史跡垣ノ島遺跡 芝生広場（屋外特設ステージ）

4 主 催

函館市教育委員会

5 実施内容

(1) “縄文めし” 創作レシピの披露

「野菜ソムリエプロ」などの資格を持つ、はこだて観光大使・佐藤麻美さんが、縄文時代の食材を活用し、現代の食材と調味料などを使った“縄文めし”レシピを創作し、会場で発表する。

レシピの創作にあたっては、佐藤麻美さんが、縄文時代や地域に関する食材を使って事前に調理して創作し、その様子を動画撮影等により記録したものをイベント会場にて発表する。

また、創作したレシピと使用する食材をセットにして、数量限定で来場者にプレゼントする。

(2) 縄文関連グルメ等の紹介

南茅部地域の飲食店などが提供している縄文関連のグルメ情報や、函館スイーツ推進協議会が展開する「函館縄文スイーツ」の商品などについて、開発エピソードを交えながら紹介し、知名度の向上と販売促進に繋げる。

(3) その他

6 出演者

(1) 佐藤麻美（はこだて観光大使，フリーアナウンサー）

(2) 函館市教委学芸員

(3) 縄文関連グルメ関係者

7 その他

(1) 「JOMON WEEK in 2022 AUTUMN」の一環で実施する。

【期 間】令和4年10月1日（土）～10日（月）10日間

【実施主体】函館市教育委員会，渡島総合振興局，道南縄文文化推進協議会，
北海道新聞社函館支社

(2) 雨天時（屋内会場）

南茅部総合センター講堂での開催を予定。

佐藤 麻美 SATO MAMI 1975年2月23日生まれ 函館市出身

<経歴>

1993 函館白百合学園高校 LB 科卒業

1998 南山大学経済学部経済学科卒業

1998 HTB 北海道テレビ入社（アナウンス部）

2014 アナウンス部→編成部に異動

2019 HTB 退社、フリーアナウンサーとしての活動をスタート

2021「そらち食の応援アンバサダー」就任

2022「はこだて観光大使」就任

<資格>

野菜ソムリエプロ、アスリートフードマイスター3級、

ベジフルビューティーセルフアドバイザー、

調味料ソムリエ、フードサロネーゼ、アクティブスリーブ指導士



令和4年度 函館市縄文文化交流センター
体験講座「中空土偶とふれあってみよう！」実施要項

実施目的

10月9日の「土偶の日」に国宝「中空土偶（レプリカ）」や縄文土器、石器などを活用した体験講座を行い、縄文時代の高い技術や豊かな精神性を体験して学びながら、縄文文化への理解を深めてもらう。

実施内容

開催日：令和4年10月9日（日）

料金：入館料のみ

実施時間：混雑回避のため、下記の3回に分けて開催

①10:00～10:45

②12:00～12:45

③14:00～14:45 各回45分

内容：来館者のうち、希望者に中空土偶（レプリカ）を直に触れてもらい、模様の観察や写真撮影を各自行ってもらおう。また、縄文土器や石器などの実物にも直に触れられるコーナーを設け、形や模様、重さや手触りなどを体感してもらおう。

※開催中は常に学芸員を含む二人以上の体制で対応する。

使用希望資料：中空土偶レプリカ 函館市役所（現・函館市役所入口で展示中の資料）
土器、石器（函館市縄文文化交流センター収蔵品）

備考

開催日に使用する中空土偶のレプリカは企画展「カックウとまっくう」で展示しているものを使用する。当日の企画展展示には中空土偶パネルを作成しそれを展示する。